



週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

本年もよろしくお願ひ申し上げます 

平成 29 年度
三重県青年・女性漁業者交流大会
— 1/6 (土) 三重県松阪庁舎 —

1 月 6 日 (土)、三重県松阪庁舎において平成 29 年度三重県青年・女性漁業者交流大会 (主催: 三重県) が開催されました。

この大会は、県内の青年及び女性の漁業者が活動内容の発表や情報交換を行うことにより、生産技術の向上・経営改善等につなげることを目的として、毎年開催されています。

冒頭、主催者代表として三重県農林水産部の永濱次長、続いて水産関係団体代表として三重漁連の湯浅会長の挨拶があり、その後、全 4 題の実績発表が行われました。

審査の結果、三重県知事賞には、立神真珠養殖組合女子部 (発表者: 森下里織氏) の『真珠で輝く女子部の挑戦～その輝きは手仕事により海から生まれる～』が選ばれました。

知事賞を受賞した上記取組みと、漁連会長賞を受賞した伊勢あさくさ海苔保存会 (発表者: 津坂明氏) 『三重のアサクサノリ養殖復活に向けた取組』は、3 月 1 日 (火)～2 日 (水) にかけて東京で

開催される第 23 回全国青年・女性漁業者交流大会へ県代表として出場します。



☆三重県知事賞

立神真珠養殖組合女子部 (発表者: 森下里織氏)
『真珠で輝く女子部の挑戦～その輝きは手仕事により海から生まれる～』

※全国大会に出場

☆漁連会長賞

伊勢あさくさ海苔保存会 (発表者: 津坂明氏)
『三重のアサクサノリ養殖復活に向けた取組』

※全国大会に出場

丸友丸定置 (発表者: 岩崎貴宏氏)

『尾鷲の魚は美味しいやり!～定置網漁業における鮮度向上・持続的経営の取組～』

合同会社志摩ふくし水産

(発表者: 山本和男氏/大屋敏氏)

『障がい者の漁業就労チャレンジ!』

**平成 29 年度
決算税務研修会
－ 1/10 (水) 水産会館－**



1 月 10 日 (水) に、水産会館 (津市) で平成 29 年度決算税務研修会が、開催されました。

津税務署の高瀬一氏より、法人税関係の改正 2 点の説明の他、消費税が 2019 年 10 月 1 日から現行の 8% から 10% に引き上げられることをうけ、飲食料品が対象の軽減税率制度についての概要が説明されました。組合業務においても大きく関わることから、参加者からも注目され、質問も多く飛び交いました。

他の講師陣からは青色申告や組合業務に係る注意点の研修、全漁連からは認定漁業者育成事業についての紹介がありました。

**平成 29 年度
三重県資源管理研修会
が開催されます (告知)
－ 1/27 (土) 三重県松阪庁舎－**

1/27 (土) 三重県松阪庁舎にて、平成 29 年度三重県資源管理研修会が開催されます。内容は右記のとおり。主催者は「当研修会をきっかけに、水産資源の維持・増大と安定的な漁業生産を確保し

ていくために、漁業関係者一体となった資源管理の実施につながれば」と意気込んでいます。

[場所] 三重県松阪庁舎 6 階大会議室 (松阪市高町 138)

[日時] 平成 30 年 1 月 27 日 (土) 13:00~17:00

[講演内容]

1 『我が国沿岸資源における

TAC 対象魚種の許容漁獲量の算出方法』(仮)

三重大学大学院 生物資源学研究科

准教授 金岩 稔 氏

2 『東北地方でのアワビの密漁対策

～資源管理と流通対策～』(仮)

鹿児島大学 水産学部水産学科

准教授 鳥居 享司 氏

3 『漁業現場における密漁対策』(仮)

漁村振興コンサルタント 田中 克哲 氏

4 『ドローンによる密漁対策』(仮)

鳥羽商船高等専門学校 制御情報工学科

教授 江崎 修央 氏

5 『エコラベルについて』(仮)

三重水産協議会 水産振興室顧問 河合 博 氏

6 『貝類漁礁技術による資源回復の取り組み』

全国漁業協同組合連合会

購買事業部資材課貝殻利活用チーム 田原 実 氏

7 『三重県密漁防止対策の推進について』(仮)

【参加申し込み・お問い合わせ先】

三重県漁連指導部

(TEL:059-228-1205/FAX:059-225-4511)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。

